



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日 東

上場会社名 川崎化成工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 4117 URL <http://www.kk-chem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 中川 淳一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部門長 (氏名) 大坪 孝幸 (TEL) 044-540-0110  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,553	△14.8	65	△37.6	87	△38.7	48	△55.4
27年3月期第2四半期	10,043	2.8	104	328.4	142	122.4	107	192.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △8百万円(—%) 27年3月期第2四半期 188百万円(125.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	1.24	—
27年3月期第2四半期	2.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,136	13,803	68.5
27年3月期	20,593	13,929	67.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 13,803百万円 27年3月期 13,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,400	△12.0	270	98.5	310	55.1	270	38.1	6.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	41,207,730株	27年3月期	41,207,730株
28年3月期2Q	2,507,005株	27年3月期	2,501,400株
28年3月期2Q	38,703,813株	27年3月期2Q	38,710,255株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益の改善等により景気は引き続き緩やかな回復基調で推移しているものの、中国経済の減速など国際的な不安要素も見られました。

このような状況下、当社グループは既存製品の拡販と安全・安定操業に注力することで設備稼働率の維持・向上に努めると共に自らの努力で実現できるロス・ムダの削減、業務改善、固定費削減等の積み重ねによる体質強化に注力してまいりました。加えて、中期経営計画のコンセプトである「機能化学品の川崎化成への進化」に向け、既存の機能化学品の拡販や新規用途分野への展開、新規機能化学品の本格展開等に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高の大部分を占める化学品事業において、可塑剤の減販及び昨年秋以降の急激な原油安による石油系の原料価格の下落に応じた価格対応により、売上高は8,553百万円（前年同期比1,489百万円減収・14.8%減）となりました。

損益面では、主に市況の下落並びに大規模定期修繕に伴う修繕費等の増加により前年同期に比べ悪化し、営業利益は65百万円（前年同期比39百万円減益・37.6%減）、経常利益は87百万円（前年同期比54百万円減益・38.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円（前年同期比59百万円減益・55.4%減）となりました。

これを事業別に見ますと次のとおりであります。

## ① 化学品事業

## ・ 有機酸製品

無水フタル酸は、販売数量は増加したものの原料価格の下落に応じた価格対応により減収となりました。

その他の有機酸につきましては、コハク酸は販売数量の増加により大幅な増収、フマル酸は販売数量の減少及び原料価格の下落に応じた価格対応により大幅な減収となりました。

## ・ 有機酸系誘導品

可塑剤は価格の下落及び数量の減少により大幅な減収、マキシモール<sup>®</sup>は前年同期並の売上となりました。

## ・ キノン系製品

ナフトキノ<sup>ン</sup>、農薬原体アセキノシル及び脱硫触媒NQ S<sup>®</sup>は、堅調に推移し前年同期並の売上となりました。パ<sup>ル</sup>ブ蒸解助剤SAQ<sup>®</sup>は販売数量の増加により、アントラキノ<sup>ン</sup>は為替差によりそれぞれ増収となりました。

以上の結果、化学品事業全体としての売上高は8,507百万円（前年同期比1,495百万円減収・15.0%減）、営業利益は65百万円（前年同期比33百万円減益・34.2%減）となりました。

## ② その他の事業

その他の事業につきましては、売上高は46百万円（前年同期比5百万円増収・14.6%増）、営業損益は1百万円の営業損失（前年同期は3百万円の営業利益）となりました。

なお、エア・ウォーター株式会社による当社普通株式に対する公開買付けの成立により、本年6月24日をもちまして、当社は同社の連結子会社となりました。

現在、エア・ウォーターグループの一員としてグループ各社との連携により、コア技術、事業ノウハウ、経営資源等を相互に提供・活用するシナジー効果の発現に向けた具体的な検討に着手しており、今後、更なる成長と発展を目指してまいり所存であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は20,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ456百万円減少いたしました。

流動資産は、主に受取手形及び売掛金、商品及び製品並びに有価証券は増加しましたが、短期貸付金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ186百万円減少し、9,963百万円となりました。

固定資産は、主に減価償却による有形固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ270百万円減少し、10,172百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は6,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ330百万円減少いたしました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の減少により、前連結会計年度末に比べ238百万円減少し、3,562百万円となりました。

固定負債は、主に繰延税金負債、役員退職慰労引当金及び退職給付に係る負債の減少により、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、2,770百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は13,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円減少いたしました。

株主資本は、主に配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、10,144百万円となりました。

その他の包括利益累計額は、主に保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少により、前連結会計年度末に比べ57百万円減少し、3,659百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ897百万円減少し、2,325百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は356百万円（前第2四半期連結累計期間比52.4%減）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益87百万円、減価償却費319百万円、定期修繕引当金の増加103百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加341百万円、たな卸資産の増加358百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は404百万円（前第2四半期連結累計期間比7.1%減）となりました。

主な支出は有形固定資産の取得による支出404百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は136百万円（前第2四半期連結累計期間比40.9%増）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額115百万円、リース債務の返済による支出20百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、本年10月21日に発表した「平成28年3月期 第2四半期（累計）業績予想の修正（連結・個別）に関するお知らせ」のとおり、主にキノ系製品の販売の一部が下半期にずれ込んだこと、並びに夏場以降の原油・ナフサ価格の下落に伴い原料・製品の受払差や期末在庫の評価損が生じたことから、各利益段階において前回予想数値を下回る結果となりましたが、上記の業績下振れ要因は下半期には解消を見込んでおり、通期業績予想については本年5月14日発表からの修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	175	225
受取手形及び売掛金	4,423	4,764
有価証券	-	2,100
商品及び製品	1,799	2,007
仕掛品	144	296
原材料及び貯蔵品	432	432
短期貸付金	3,048	-
その他	127	137
流動資産合計	10,150	9,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,774	1,713
機械装置及び運搬具(純額)	1,581	1,358
土地	5,862	5,862
その他(純額)	157	289
有形固定資産合計	9,376	9,223
無形固定資産	110	94
投資その他の資産	956	855
固定資産合計	10,443	10,172
資産合計	20,593	20,136
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,221	2,015
短期借入金	100	100
未払法人税等	39	56
賞与引当金	181	178
修繕引当金	79	182
その他	1,179	1,029
流動負債合計	3,801	3,562
固定負債		
リース債務	41	44
再評価に係る繰延税金負債	1,541	1,541
繰延税金負債	222	188
役員退職慰労引当金	77	55
退職給付に係る負債	747	706
資産除去債務	232	233
固定負債合計	2,862	2,770
負債合計	6,664	6,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,282	6,282
資本剰余金	2,549	2,549
利益剰余金	1,783	1,715
自己株式	△402	△403
株主資本合計	10,212	10,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	419	352
土地再評価差額金	3,245	3,245
退職給付に係る調整累計額	51	61
その他の包括利益累計額合計	3,716	3,659
純資産合計	13,929	13,803
負債純資産合計	20,593	20,136



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,043	8,553
売上原価	8,912	7,458
売上総利益	1,130	1,095
販売費及び一般管理費	1,026	1,030
営業利益	104	65
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	11	13
固定資産賃貸料	26	27
その他	4	3
営業外収益合計	44	44
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産処分損	3	17
固定資産除却損	2	2
その他	0	1
営業外費用合計	6	22
経常利益	142	87
税金等調整前四半期純利益	142	87
法人税、住民税及び事業税	34	39
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	34	38
四半期純利益	107	48
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	107	48

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	107	48
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	△67
退職給付に係る調整額	17	10
その他の包括利益合計	80	△57
四半期包括利益	188	△8
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188	△8
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	142	87
減価償却費	309	319
受取保険金	-	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	△2
修繕引当金の増減額(△は減少)	73	103
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9	△21
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	△30
受取利息及び受取配当金	△13	△14
支払利息	0	0
有形固定資産除却損	2	2
売上債権の増減額(△は増加)	△659	△341
たな卸資産の増減額(△は増加)	△803	△358
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△35	△8
仕入債務の増減額(△は減少)	△89	△205
その他の流動負債の増減額(△は減少)	259	117
その他	4	9
小計	△774	△345
利息及び配当金の受取額	13	14
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△2	△25
法人税等の還付額	14	-
保険金の受取額	-	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△749	△356
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△430	△404
その他	△5	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435	△404
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100	-
短期借入金の返済による支出	△100	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△76	△115
リース債務の返済による支出	△20	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97	△136
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,282	△897
現金及び現金同等物の期首残高	2,992	3,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,710	2,325

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,002	40	10,043	—	10,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	54	54	△54	—
計	10,002	94	10,097	△54	10,043
セグメント利益	98	3	102	2	104

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,507	46	8,553	—	8,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	54	54	△54	—
計	8,507	101	8,608	△54	8,553
セグメント利益又は損失(△)	65	△1	63	1	65

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。